

平成 28 年度各地区協会活動報告

関東甲信越地区（筑波大学）

1 会議

(1) 関東甲信越地区国立大学図書館協会総会

平成 29 年 4 月 28 日（金） 当番館：放送大学

- 1) 「関東甲信越地区における理事及び監事の選出方法について（申し合わせ）」の改正について
- 2) 第 64 回国立大学図書館協会総会に向けての準備事項等について
 1. 平成 29 年度地区理事館の選出について
 2. 第 64 回総会の研究集会テーマについて
 3. 平成 28 年度地区協会活動状況報告について
- 3) 地区助成事業による研修について
- 4) 国立大学協会による「国立大学における学術情報の状況及び課題に関するアンケート」の公表と要望活動等に対する、国立大学図書館協会との連携について

(2) 第 49 回関東甲信越地区国立大学図書館協会事務（部・課）長会議

平成 28 年 12 月 2 日（金） 当番館：千葉大学

- 1) 地区助成事業による研修のあり方について
- 2) その他
 - ・ 図書系専門試験結果の開示について
 - ・ 会議資料のペーパーレス化について

2 研修

(1) 平成 28 年度関東甲信越地区大学図書館職員研修会（当番館による開催）

平成 29 年 1 月 10 日（火） 当番館：上越教育大学

会 場：上越教育大学第 2 講義棟 104 教室

参加者：14 名

テーマ：子どもへの読み聞かせに関する研修会－読み聞かせにチャレンジ

講演：「子どもの発達と読み聞かせ」白神 敬介氏（上越教育大学大学院准教授）

「学校現場での読み聞かせの実際」朝日 仁美氏（糸魚川市立糸魚川小学校学校司書、JPIC 読書アドバイザー、絵本専門士）

実演、質疑応答、参加者による練習・実演

* 本研修は国立大学図書館協会地区助成を得て開催した。

(2) 平成 28 年度関東甲信越地区大学図書館職員研修会（追加開催）

平成 28 年 12 月 12 日（月） 担当館：筑波大学

会 場：筑波大学中央図書館 2 階集会室

参加者：48 名

テーマ：大学図書館における障害学生支援～障害者差別解消法の施行を受けて

講演：「身近なところから始める障害学生支援～視覚障害を中心に」飯塚 潤一氏（筑波技術大学教授）

「プリント・ディスプレイのある利用者のための資料電子化サービス」小林 泰名氏（北海道大学附属図書館）

事例報告：「筑波技術大学附属図書館視覚障害系図書館の取り組み」福井 恵氏（筑波技術大学視覚障害系図書館）

* 本研修は国立大学図書館協会地区助成を得て開催した。

3 その他

(1) Librarian 2020 プロジェクト

関東甲信越地区の若手、中堅職員からなるメンバー9 名によって、地区における今後の研修、人材育成のあり方を考えるプロジェクトを実施した。

1) 事前準備 メールでの打合せにより、インタビュー内容を準備

2) 有識者インタビュー

日時：平成 29 年 3 月 7 日（火）10：00～17：00

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎 116 講義室

対象者：国公立大学図書館協力委員会研修のあり方に関する WG メンバー1 名、元 NII 研修担当者 1 名、東京地区協会研修企画委員 2 名

インタビュー内容：研修の企画・運営・実施や研修の手法、委託について、地区での研修開催の意義、研修における課題等

3) 報告書作成

* 本事業は国立大学図書館協会地区助成を得て実施した。